

実施計画に示す再編の具体像に基づく各学校の状況について

中学校のあり方実現に向けた再編の具体像

基本指針に、中学生期は、「思春期を迎える同世代によるコミュニティをしっかりと構築することを通して、その集団の中での社会性を養うことが重要な時期」と位置付け、中学校は「中学校期における『ひとづくり』を推進していく上でも、1 学年複数クラス（36 名以上）の確保を目標とし、再編を検討する」ことを考え方として進めることを示しております。

したがって、令和 10 年度に複数クラスを有することが予想されていない中学校の 4 校（横田中学校、中西中学校、美都中学校、匹見中学校）の状況を示しています。

横田中学校

- ・校区は、豊田、高城の 2 地区で、公民館は豊田公民館。
- ・校区内の小学校は、西益田小学校、美都中学校。
- ・令和 3 年に西益田小学校において、コミュニティスクールを設置。
- ・保育園と小中学校が連携して「高津川」をテーマとした総合的な学習の時間のカリキュラムを作成・実施。
- ・子どもたちを地域全体で受け止めて、おとながともに育てる活動が活発化し、2011 年には「優れた地域による学校支援活動の推進」文部科学大臣表彰を受賞。
- ・令和 6 年度については、1 年生 31 名、2 年生 33 名、3 年生 33 名の合計 97 名。
- ・令和 10 年度には、合計 64 名の生徒数となり、令和 6 年度と比較して約 3 分の 2 になることが見込まれる状況である。

学校名	令和 6 年度			令和 10 年度		
	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均
横田中学校	97	3	32.3	64	3	21.3
益田中学校	421	12	140.3	404	12	134.7
合計	518	16	172.7	468	15	156.0

（上記の学校間の道のり 8.4 km）

（長沢町から益田中学校の道のり 21.8 km）

中西中学校

- ・校区及び公民館ともに二条、中西、美濃の3地区で各地区公民館。
- ・校区内の小学校は、桂平小学校（令和2年度建築）、中西小学校（令和3年度建築）。
- ・来年度から桂平小学校のコミュニティスクールの設置が期待される。
- ・中西小学校は、平成26年度から美濃小学校、平成27年度から内田分校と併せ運営。
- ・令和6年度については、1年生12名、2年生16名、3年生17名の合計45名。
- ・令和10年度の中西中学校については、合計42名となり、今後の推移としては変わらない状況となっている。
- ・平成30年度から西南中と再編し運営を開始されている。

学校名	令和6年度			令和10年度		
	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均
中西中学校	45	3	15.0	42	3	14.0
高津中学校	200	6	66.7	202	6	67.3
合計	245	9	81.7	244	9	81.3

（上記の学校間の道のり 7.5 km）

（桂平町から高津中学校の道のり 18.5 km）

高津中学校

- ・高津中学校においては令和8年4月から小野中学校との再編を予定。

美都中学校

- ・旧町村単位として一つしかない中学校。
- ・二川、都茂、東仙道の3地区を校区とし、公民館も各地区公民館。
- ・校区内の小学校は、都茂小学校、東仙道小学校。
- ・令和6年度は、1年生3名、2年生7名、3年生7名の合計17名。
- ・令和10年度には合計27名と増加が見られるが、一時的なものであって、生徒数の推移は概ね変わらない状況となっている。
- ・再編を実施、実施中の真砂中、小野中、匹見中と同様に1学年の平均人数が10名程度
- ・子どもの保護者の中で再編についての協議が進んでいる。

○ 令和6年6月に美都地区保護者協議会（構成：保、小、中保護者）から教育長に要望書とアンケートを提出。

- ・アンケート（総数76）内容は、再編を希望、やむなしが多数を占めた。

再編が良い、再編やむなし	63%
わからない、判断できない	17%
再編を行わず存続する方が良い	20%

- ・保護者で再編の意思統一は図っていない。
- ・地域では、再編に反対よりも不安という意見が多かった。
- ・再編を基に地域の中で関係性が悪くなることを懸念する。
- ・再編の判断を任せたい。

学校名	令和6年度			令和10年度		
	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均
美都中学校	17	3	5.6	27	3	9.0
益田東中学校	205	6	68.3	174	6	58.0
合計	222	8	74.0	201	6	67.0

（上記の学校間の道のり 14.4km、板井川から益田東中の道のり 24.2km）

○ 実施計画P6での美都中学校についての記載内容

なお、現在1学年10名程度で編成されている美都中学校については、地区説明会での意見などにおいて、生徒が希望する部活動が学校に無いという状況により、生徒にとってよりよい学校生活を送るべく校区外通学を行っている生徒が一定数存在します。

一方で、旧町村単位として一つしかない中学校は地域の中でも欠かせない状況にあり、幅広い年齢層における地域コミュニティを支える場としての役割を持っているところです。益田東中学校との再編も検討しましたが、今後、更なる生徒数の減等で学校運営が困難な場合に、学校・地域・行政が一体となって十分に協議を行うものとして留めることとします。

匹見中学校

- ・旧町村単位として一つしかない中学校。
- ・旧匹見町域は豪雪地帯対策特別措置法に基づく豪雪地帯に指定。
- ・匹見上、匹見下、道川の3地区を校区とし、公民館も各地区公民館。
- ・校区内の小学校は、匹見小学校。
- ・小中学校において、コミュニティスクールを設置。
- ・匹見小学校は、平成29年度から道川小学校と再編し、運営している。
- ・令和6年度の匹見中学校については、1年生2名、2年生3名、3年生1名の合計6名（男3名、女3名）となっており、今後における生徒数の推移においても変わらない状況となっている。
- ・令和3年4月から匹見小中学校同一校舎運営を開始。
- ・再編となると片道1時間以上の遠距離通学が見込まれる。

学校名	令和6年度			令和10年度		
	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均
匹見中学校	6	3	2.0	8	3	2.7
横田中学校	97	3	32.3	64	3	21.3
合計	103	3	34.3	72	3	24.0

（上記の学校間の道のり 28.0km）

（道川から横田中学校の道のり 43.7km）

学校名	令和6年度			令和10年度		
	人数	学級数	学年平均	人数	学級数	学年平均
匹見中学校	6	3	2.0	8	3	2.7
横田中学校	97	3	32.3	64	3	21.3
益田中学校	421	12	140.3	404	12	134.7
合計	524	16	174.7	476	15	158.7

（上記の学校間の道のり 36.4km）

（紙祖から益田中学校の道のり 59.2km）